

# 令和6年度子ども議会本会議

開催日 令和7年(2025年) 1月16(木)	会議時間	開会 午前 10時00分 閉会 午前 11時40分
会議場所 役場庁舎3F 町民ホール(議場)	記録者 こども未来課こども未来係 集落支援員 松田 ありさ	
出席者：片山町長、片岡教育長、総務課長、総務課係長、総務課参事、消防庁舎整備室長、企画環境課長、企画環境課参事、税務課長、町民生活課長、保健福祉課長、農政課長、農政課参事、国営農地再編推進室長、商工観光課長、商工観光課参事、都市建設課土木管理係、上下水道課長、総合教育課長、総合教育課参事、給食センター長、こども未来課長、 広報：澤田係長 教委：学校教育課 松尾、CS池田 傍聴：12名		

## 議会内容

### <開会行事>

#### 1. ニセコ町議会議長あいさつ(青羽議長)

ただいまご紹介いただきました議長の青葉と申します。よろしくお願いいたします。  
今日は子ども議会ということで、大変楽しみにしております。ニセコ町は観光と農業の町でございます。皆様ご存じの通り、今外国人がたくさん訪れてきております。  
それでニセコの街も大変潤っております。しかし、いいことばかりだけではないというようなこと多くは申し上げませんが、皆様知っておいていただきたいなという風に思っております。

人口の方は、今ニセコ町は5000人前後ということでございます。

全土には179市町村がございます。その中でも、人口が減らないところというのは、数町村しかないというふうに言われております。

これはもう行政に携わっている方初め、関係者がご努力してる賜物だというふうに思っております。住むことが誇りに思える町こういったものを目標に、我々もお手伝いしてるというようなことでございます。今日は子ども議会ということで皆様方たくさんお集まり、また保護者の方にも見守っていただけてるように思います。普段思ってる疑問だとか、こういった設備があればもっと楽しいのになとか、自分の言葉で大きな声ではっきりと質問していただければ大変喜ばしいかなと思っております。また、答弁に携わる課長クラスも、皆さん真剣に、答弁や対応をしていただけたらと思います。

また皆様方は、この町の今後大事な将来を担う人材でございます。今後とも、一生懸命勉強して、努力して活躍されること期待いたします。これで私の挨拶といたします。よろしくお願いいたします。

#### 2. 子ども議会議長・副議長・議員の紹介

議長：ニセコ中学校1年 西山 悠稀

副議長：ニセコ小学校5年 マッケイ 瑠生

議員：ニセコ小学校4年 クレイドン 花

ニセコ小学校4年 長沼 八重

ニセコ小学校4年 武田 紅奈

ニセコ小学校4年 樋口 稜介  
ニセコ小学校4年 只野 樹  
近藤小学校5年 佐久間 徳  
ニセコ小学校4年 浅川 桃百  
ニセコ小学校4年 湯浅 すみれ  
ニセコ中学校1年 中谷 太一

3. まちづくり委員振り返り発表 委員の紹介

委員：インターナショナルスクール4年 長谷川 愛和  
ニセコ小学校4年 佐藤 友秋  
ニセコ小学校5年 二唐 六花  
ニセコ小学校4年 二唐 研  
ニセコ小学校4年 前川 旺太  
ニセコ小学校4年 高橋 風輝

3. 町への提案事項について

(1) ニセコ小学校4年 クレイドン 花・長沼 八重 「ちびっこ広場の遊具」について  
クレイトン議員

長沼議員：今の遊具は小さい子用なので、小学生も楽しめるアスレチックを追加してほしいです。  
なぜかという、放課後や休みの日にお友達と会ったり遊んだりして楽しみたいからです。

都市建設課

土木管理係：本日は橋本課長不在のため、代理の関が回答いたします。クレイトン議員、長沼議員のご質問にお答えします。

ちびっこ広場は、昭和62年今から38年前に実施設計を行ない、平成3年今から34年前に現在もあるターザンロープとのコンビネーション遊具を設置しています。計画当初は小学校低学年の利用を想定しておりましたので、4年生には物足りなさを感じるかと思います。今年ですが、アスレチックのような大きな遊具は言えませんが、遊具を2機設置してする予定でございます。この、ちびっこマウンテンとザイルクライミングというのを予定しております。以上で何卒ご理解をいただきますようよろしく申し上げます。

西山議長：再質問はあるか

クレイトン議員・長沼議員：とくになし

町長：クレイトン議員、長沼議員のご質問ありがとうございます。ちびっこ広場、みんな使ってくれて本当にありがたいです。今あそこにある水遊び場が古くなって今使っていないのあるんですけど、これまで皆さんの保護者、お父さんやお母さんの意見聞いてあそこに水の広場も作ろうかなっていうことで、ずっと計画をしているんですが、水のことや設置をして

維持することとか色々考えていてももう少し時間かかりそうなので、今年は先ほど関さんが説明した通りの遊具を2つ、新たに設置することにしていきます。ちびっこ広場の奥のほうにある丸いところに道路があって、通路があるとこを少し埋めて、そこに遊具を置いて芝生の上で皆さんが少し遊べるように工夫してありますので、皆さんも気づいた点あれば、ぜひ言ってほしいなというふうに思いますので、よろしくお願ひします。ご質問ありがとうございました。

教育長：それでは、私の方からもちよつと補足させていただきます。本当に小学4年生から中学年の子どもたちにとっては、外の遊び場や冬の遊び場、ニセコ町になくてということ、ちびっこ広場の方にも中学年とか小さいお子さんの要望ということだったので、本当に切実なとてもいい質問だったなというふうに思っています。今有島記念館の方では、冬場の子どもたちの遊び場ということで、小さいお子さんもいらっしゃいますけれども、この間様子を見に行ったらとってもたくさんの子どもたちが来てくれましたので、ぜひそんな取り組みを今後も続けていきたいと思ひますので、ぜひ小学校の低学年から高学年まで幅広い子どもたちが楽しめるようなちびっこ広場を検討していきたいと思ひますので、どうぞよろしくお願ひします。本当にありがとうございました。

(2) ニセコ小学校4年 武田 紅奈・樋口 稜介・只野 樹 「スクールバス」について

武田議員

樋口議員

只野議員：いつもスクールバスを使っていますが、バスの運転手さんによって言うことが違います。他にも、冬にバスを見たときに横の溝に落ちているのを見ました。自然が多い地域に住んでいるので、安心して通学したいです。そして、バスの帰りの便を、3時、4時、5時、6時にあると良いと思ひます。

総合教育課長：武田議員、樋口議員、只野議員のスクールバスの質問についてお答えいたします。まず最初に、スクールバスについて不安な思ひをさせてしまつて本当に申し訳ありません。運転手さんによって曲がりますとか止まりますというようなアナウンスがあつたりなかつたりして、バスに乗つてるときに心配な気持ちになつたというふうに聞きました。

運行をお願ひしているバス会社の方に聞いたところ、運転手さんは基本的には曲がる時、止まる時にそういったアナウンスをするように心がけているということです。そういうことですので、今後十分に皆さんが心配にならないように気を付けていきたいということでした。冬にバスが横に落ちているのを見たというようなこともいただきましたけれども、バスの運転手さんも皆さんが安心して学校に通えるように安全運転に努めていただけていますので、どうぞご理解ください。そして、帰りのバスを増やしてほしいという希望もいただきました。今使っているバスは、皆さんも結構使っていると思ひますし、学校のとこに来ているバスを見る人もいます。今使っているバスは40人ぐらいが乗れるちよつと大きなバスです。もしも、今運行している帰りのバスを3便から4便に増やすと、1つのバス1台あたりのバスに乗る人の数が少なくなつてしまひます。そうすると、運行の効率が悪くなり大きなバスに乗つて人がちよつと少ないつていうことで、お金の使い方が

もったいなくなるなというふうに思っています。それから、バスの運転手さんの中には、スクールバスの運転が終わった後に、今の時期だとスキー場のバスの運転に回るような人もいて、そうするとバスの本数増やすとなると、運転手さんはもう1人別の方をお願いしなきゃいけないというふうになってしまいます。

こうしたことから、今すぐに現状でバスの運行本数を増やすことは非常に難しいというふうに思っています。ただ、私も皆さんが提案してくれたように、バスを増やせば待ち時間が少なくなって便利になるというふうに思います。それから、バス通学の方は、バス通学の方も放課後に行われてるような放課後子ども教室ですとか、ミニチャレですとか、あそぶっくらぶですとか、そういった行事にも参加しやすくなるかなと思います。中学生だと部活がある人ない人、それぞれ帰る時間が違いますが、そうした人もそれぞれの都合に合わせて帰りやすくなるというふうに思います。そのためには、さっき言ったように、バスの大きさですとか、路線をどのように回るか、それから運転手さんをどうやって確保するかということを検討しないといけないというふうに検討しなければいけません。そういった検討することがたくさんあるんですけども、 将来に向けて今後検討していきたいというふうに思いますので、どうぞご理解をお願いいたします。以上で回答終わります。

西山議長：再質問はあるか

武田議員・樋口議員・武田議員：とくになし

教育長：スクールバスについてのご質問、本当にありがとうございます。

皆さん毎日スクールバスに乗ってるっていうことで、本当に切実な問題でみなさんにとって楽しいスクールバスだったり便利なスクールバスということで、淵野課長の方から具体的な答弁をさせていただいたところですけども、現在全国的にバスの運転手不足ということが大きな問題になっていて、なかなかこのニセコ町でもバスの運行が難しい状況です。そういう中でも教育委員会としては、なんとかまずは安全で安心なバスの運行に心がけて、そして皆さんが楽しく利用できるような、スクールバスで運行に努めてまいりたいというふうに今後検討してまいりたいと思います。今日のご質問本当にありがとうございました。

町 長：ご質問ありがとうございます。今ニセコ町には、ニセコバスという会社があって本社ニセコ町です。スクールバスをお願いしたり、デマンドバスと言ってちっちゃなワゴン車で輸送してもらってます。今冬の間は、ニセコ周遊バスと言ってずっと山の方回るバスも動かしています。ニセコバスさんと協議していますけど、できるだけそういう便を増やしたいなって思ってます。しかし、バスの運転手さんも数がなかなか少なく、今ニセコバスさんでもいっぱい募集をして、バスの運転してくれる人をお願いして探してるところです。できるだけそういう運転手さんが確保できたらその周遊バスも夏も通して動かしたいなと思ってますし、できれば皆さんが使っているスクールバスとか、僕ら移動の自由って言うんですけど、できるだけ皆さんが移動の自由を確保できるような町に今後していきたいなと思ってますので、これからも応援の方よろしくお願いします。

(3) ニセコ小学校5年 マッケイ 瑠生・近藤小学校5年 佐久間 徳

「ニセコのイベント」について

マッケイ議員

佐久間議員：ニセコはイベントが少ないので、もっと増やしてほしいです。理由は、登山イベントや花火大会などしかないし、ミニチャレも3、4年生しか出来ないの、全学年参加できるものやお菓子作りイベントなどをやってほしいからです。

商工観光課長：佐久間議員とマッケイ議員のご質問にお答えします。

みんなで参加できるイベントを増やしてほしいとのご質問でした。2人とも知っているとは思いますが、現在皆さんが参加できるイベントは6月はあそぶっく祭り、7月には招魂祭、8月の七夕の夕べ花火大会や各地域でのお盆の盆踊り大会と、9月にはニセコマラソンフェスティバルや狩太神社の祭り、10月にはニセコハロウィンなどがあります。

また、東山にあるニセコビレッジでは、毎年7月にニコニコフェスティバルというイベントを開催しているんですけども、去年ニセコ中学生が作成した「ニセコ検定」を基にしたクイズ大会ですとか、ペットボトルロケットのイベントなど、新しくその場で開催されております。

また、12月には町民センターでクリスマスイベントが、ニセコの地域おこし協力隊と国際交流員が中心となって開催されております。他にも、音楽イベントや絵本ワールドなど、実は様々なイベントが年間を通して開催されております。もしかすると、2人も知らなかったイベントがあるかもしれません。それぞれのイベントは主催する実行委員会などが行っていて、それを町が応援しています。イベントが少ないというご意見でしたが、マッケイさんと佐久間さんも、もっとこういうイベントを開催してはどうかという意見がありましたら、もっとお教えていただきたいと思っております。

また、2人とも今年6年生になると思いますが、例えば児童会などで、みんなで参加できるイベントを企画してはどうかとも思っています。ご質問ありがとうございました。

こども未来課長：只今の佐久間さんとマッケイさんのご質問に、私からも補足でお答えしたいと思います。教育委員会では、放課後に学童保育所に通ってないお子さんたちにも安心して通うことができる放課後子ども教室や、同じく放課後や休みの日に色々な活動したり、思いっきり遊んだりするニセコみらいラボ事業であったりとか、ミニチャレや小さな学校事業、あそぶっくらぶ、小学校5・6年生向けには羊蹄山登山よりも少し難易度の高い活動もチャレンジするニセコチャレンジなどを実施しております。これらの取り組みには指導する先生に限りがあるということから、学年やニーズを絞って実施している事業もあります。しかし、今佐久間さんとマッケイさんから提案があった通り、学年は関係なく誰でも希望する人が参加できるような、そういうことができないかと検討していきたいなというふうに考えております。また他にも、ニセコ町の役場には5人の外国人のスタッフがおります。今日紹介できなくて申し訳ないです。今日は別のイベントの絵本ワールドというものの準備ということで都合がつかなかったの、また別の機会に紹介

したいと思うんですが、5カ国からインドネシアとベルギーとドイツ、中国、カナダが来ているスタッフです。この方たちが、各国のお菓子作りなどを通じて国際交流を行う、誰でも参加できる国際交流イベントなんかも行っております。なんかこういったのはニセコならではのものなのかなと思いますので、ぜひ参加していただければと思います。こうしたイベントとか企画を考える時に私たちが合言葉にしている言葉があって、それは居たい・行きたい・やってみたいというような言葉です。この言葉の通り皆さん子ども自身が、そこへ居たいとか、そこに行ってみたいとか、そこでやってみたいとか、そういったことがもっとももらえるような場にしたいということなのですが、そのためには、皆さんのやっぱり意見や声が大切となっております。先ほど、商工観光課長さんからの答弁でもありましたけど、意見を教えてくださいということもありました。ぜひ皆さんと一緒にそういった居たい、行きたい、やってみたいという場が作れたらいいなと考えておりますので、ぜひよろしくお願ひします。

また繰り返しになりますけども、ニセコのホームページなどで色々なイベントが載っておりますので、ぜひ積極的にチェックしてもらって、例えばどんなものがあるか少しまとめてみてもらって、その中でもしわからないことがあったら、役場のこども未来課の方に来てもらって相談に来てくれたり、提案してくれるとありがたいなと思いますので、よろしくお願ひします。私から以上です。ご質問ありがとうございました。

西山議長：再質問はあるか

マッケイ議員・佐久間議員：とくになし

教育長：イベントが少ないということでご心配いただいたんですけど、確かに数年前コロナの時は本当に色んなことが何もできなくて、皆さんも寂しい思いしたんじゃないかなと思っています。今コロナ禍が明けて、インフルは少し流行っていますけれども、いろんなイベントがあるなというふうに私は受け止めています。しかし小学生の2人の議員の方には、そういうのがうまく伝わっていないなということが、今回のご質問だと思っていますので、教育長として、そしてニセコ町としても担当の課長の方からお話しましたが、結構、色々やってるかなと思います。ぜひ、それを町として広報活動して、小学生にも十分伝わるような取り組みをしていきたいと思っていますので、学校を通していろんなイベントの情報を皆さんの方にも今後周知して、多くの方に参加してもらえるような取り組みをしていきたいと思っていますので、よろしくお願ひします。

今日は本当に大変良い質問ありがとうございました。

町長：ご質問ありがとうございました。

僕も、小学校の時にイワオヌプリって山に登りたいなって大人の人に相談をして、毎年登山が出来るように、大人の人に企画してもらいました。ニセコでも、今それぞれのグループやってくれてると思うので、自分たちがこんなキャンプをしたいとか、こんなことしたいなっていうのをぜひ提案してみんな仲間を集めて、お父さんお母さんや学校、あるい

は役場の子ども未来課の方にいろんな相談してくれると、みんなで応援したいなと思ってますので、ぜひいろんな提案してください。今日はどうもご質問ありがとうございました。

(西山議長からマッケイ副議長へ交代)

(4) ニセコ小学校4年 浅川 桃百・湯浅 すみれ 「ちびっこ広場のトイレ」について

浅川議員

湯浅議員：ちびっこ広場のトイレをいつでも使えるようにしてほしいです。理由は、ちびっこ広場のトイレが開いていなくて、遊んでいる途中でトイレに行きたくなった時は、町民センターのトイレに行くのですが、遠くて大変です。いつもちびっこ広場のトイレを使えたほうが良いと思ったからです。なぜ、毎日開かなくなったのですか。

都市建設課

土木管理係：代理として関がご回答いたします。浅川議員、湯浅議員のご質問にお答えします。

まずは、ご不便をおかけしたことをお詫びいたします。ちびっこ広場のトイレについては、4月下旬から10月末までの期間で、朝の8時から夕方の6時まで使えるようにしています。たまに故障がありまして使えなくなることもあり、ご迷惑をおかけすることがあり、今回のような事態になったかと思えます。そのような場合に関しては、なるべく早く修繕を行ないトイレを使えるようにしますので、何卒ご理解くださいませうようお願いいたします。ご質問どうもありがとうございました。

マッケイ副議長：再質問はあるか

浅川議員・湯浅議員：とくになし

町長：さっき課長が答弁した通り、基本的には毎日開いてるんですけど、故障してしまいその期間が少し長かったようで皆さんにご迷惑かけて申し訳ないなと思えます。みんなで綺麗にトイレを使うように、これからも僕たちも周知していきたいなと思ってますので、ぜひまたいろんな面で気づいた点があったらぜひ言っていただけるとありがたいなと思ってます。ご質問ありがとうございました。

教育長：先ほど公園の遊具のご質問もありましたけれども、トイレも利用するのに切実な問題だと本当に思います。利用に必要な施設のことについてお気づきいただいて、ご質問いただいて、本当にありがとうございます。

今、町長からもお話ありましたが、町のそういう施設については、それぞれ定期点検したりして見ております。その中で、先ほどの施設と遊具のことも合わせて、トイレの方はぜひその都度、早い改修や修繕をしてまいりたいというふうに思っていますし、できるだけ多くの子どもたちがいろんな遊具を使って安全、安心して楽しめるちびっこ広場となるように、教育委員会としても色んなことで協力していく所存でございますので、ぜひご意見いただければと思います。本当にご質問ありがとうございました。

(5) ニセコ中学校1年 中谷 太一 「有島記念館のトイレ」について

中谷議員：有島記念館のトイレについてです。学校の帰りや遊んだときなど、トイレに行きたくなった時に使おうとしたら閉まっていたり使えませんでした。地域の人はもちろん、観光客にも気軽に使ってもらえるようにトイレの中に英語表記を入れて増やしたり、ニセコの情報も書いたらニセコがより豊かになると思います。使える時間も長くしてほしいです。

総合教育課長：私の方から回答いたします。

まず最初に中谷議員、いつも有島記念館の公園を使っただけありがとうございます。そして、トイレの提案をいただきありがとうございます。有島記念館の外にあるトイレですけれども、まずトイレが使えなかったということでご不便をかけたしまいました。申し訳ありません。

このトイレは、有島記念館が開館している日の午前9時頃から午後5時頃まで利用いただけるように運営をしています。夜間は使う人が少なくなるというようなことですか、それから防犯の観点から使えないようにしています。また、有島記念館がお休みとなる月曜日は、朝夕の鍵の開け閉めを行なうスタッフが不在となってしまうので、月曜日についてもトイレを閉じさせていただいております。今後、朝夕にもたくさんの希望が寄せられるような場合には、利用時間の延長も検討していきたいというふうに思っておりますのでご理解ください。

次に、トイレ内での観光情報の提供についても提案をいただきました。公衆トイレの中央部にある休憩スペースにニセコエリアの写真ですとか、有島記念館・有島武雄とニセコの関わりについての紹介展示を今やっています。ただ、この案内は中谷議員にも見ていただいた通り、日本語だけの説明になっています。また、私たちが改めて確認したところ古い情報もありましたので、今後新しく展示内容を更新していきたいというふうに考えています。

その際には、英語を含めて多言語の表記にしていきたいというふうに考えているところです。これからも有島記念館、そして有島記念館の周りの公園をご利用いただければというふうに思いますし、また何か気づいたことがあれば有島記念館のスタッフに言っていただければというふうに思います。

どうぞよろしく申し上げます。

マッケイ副議長：再質問はあるか

中谷議員：とくになし

教育長：有島記念館ご利用いただき本当にありがとうございます。有島記念館は、皆さんもご承知の有島武郎にかかわる総合扶助という理念で色々進めているところでありますが、先ほども少しお話ししましたが、今年は冬に小さいお子さんを対象に、遊具などを使って色んな子どもたちが遊びに来てるような、取り組みをしていますし、公園自体もどんなふうに子どもたちあるいは町民の皆さんに有効に活用していただけるかっていうことで、今後有島記念館全体のあり方、あるいは活用の仕方も含めてぜひ検討していきたいなというふうに思っています。その中で多くの小学生や中学生の皆さんが、有島記念館に足を向けて色々お気づきの点があれば、ぜひ今

後とも色々言っていたいただければと思います。本日は貴重なご質問ありがとうございました。

町長：ご質問ありがとうございます。僕たちもよそ行った時に、トイレ綺麗な町って、とっても気持ちいいですね。私たちの町にも例えばニセコビュープラザとか色んなところにそれぞれトイレがあるんですけど、今後トイレが皆さん利用しやすいように、もちろん住民の皆さんも、少しでもきれいに使えるように心掛けていこうというふうに思っています。貴重なご質問ありがとうございました。

(6) ニセコ中学校1年 西山 悠稀 「スキーレンタル」について

西山議員：ニセコはウィンタースポーツが有名です。しかし、学校の授業でしか滑らない人がいたり、せっかく来てもレンタル料金が高く気軽に借りることが難しくなっています。ニセコに来た人や興味を持った人が気軽に滑れるように、無料で貸し出しを出来るようにしてほしいと思います。

総合教育課長：では、私の方から回答いたします。

西山議員、たくさんの人にスキーを気軽に滑ってほしいというご質問いただきました。ありがとうございます。

私たちも、子どもたちには学校の授業の時だけではなく、冬休み中や土曜日や日曜日にこのニセコのパウダースノー中で、スキーを思いっきり楽しんでほしいというふうに思っています。

ただ西山議員もご承知の通り、スキーをするためには板やブーツ、ウェアなどの用具を準備したり、リフト券を購入したりと費用がかかります。また、用具は準備しても子どもの頃は成長でサイズがすぐに合わなくなってしまって、何度か買い替えていくような必要があるというふうに考えていく必要があります。

そこで教育委員会では、スキーを今から始めようとか、始めたばかりの幼児センターに通ってるぐらいの小さなお子さんには、無料でスキーの用具を1週間レンタルする取り組みを行っています。これは、無料のレンタルスキーの用具を使ってもらうことで、それがスキーを始めるきっかけとなって、小さいうちからスキーは本当に楽しいものっていうことを味わってもらいたいからです。小学生以降については、今のところ体の大きさも様々になってしまいますので、レンタル用のスキーを準備することは難しいというふうには考えています。ただ、役場では業務以外の支援として、スキーのリフト券を買うときの費用の助成、安く買えるように補助すること、スキーリフト券の購入助成をスキー場の皆さんのご協力もいただきながら実施したり、それから、皆さんがスキー場に行くために便利なバス、冬休み中も走っている周遊バスを運行したりしているところです。

これからもニセコ町の子どもたちが気軽にスキーに行けるよう、できるような環境作りに教育委員会としても取り組んでいきたいと思いますので、ご理解のほどよろしくお願いたします。

商工観光課長：ご質問ありがとうございます。

ニセコ町に来た人にも、スキーなどを気軽に進められる環境づくりをとともご質問がありましたので、補足としてお答えいたします。

西山議員のご指摘の通り、レンタル代ですとかリフト代などが年々ちょっと高くなってきているってことは確かにあります。しかしそれでも、スキーやスノーボードなどを楽しみたい人が日本の国内だけではなく、世界中からニセコ町に来ていただいております。ちなみに昨シーズン、令和4年の12月から令和5年の3月までなんですけど、ニセコに来た観光客の皆さんは、77万6000人。

その中の外国人なんですけれども、約6万4000人で、20ヶ国以上の方がニセコに来て、ニセコの冬を楽しんでもらっています。

こういったニセコのパウダースノーとかスキー場の価値が、とても高いということだと思っております。こういった状況となっていることは地域の皆さんの努力のおかげでありまして、こんなスキー場が近くにある環境が身近にあって、気軽に楽しむことができる場所があるということは、恵まれていることだと思っております。そのため、先ほど総合教育課長より答弁がありました通り、ニセコ町の皆さんにはもっとスキーに行ってもらえるような取り組みの他に、スキー場でも、ニセコ町民がリフト代を安く買える町民割などを行っております。今後もニセコ町の皆さんや観光客の皆さんがウィンタースポーツを楽しめる環境づくりに取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解のほどお願いします。ご質問ありがとうございました。

マッケイ副議長：再質問はあるか

西山議員：とくになし

教育長：ぜひニセコで皆さん大いにスキーを滑りに来ることで楽しんでほしいというご質問だったと思います。

スキーやる上では、本当にスキーの用具ですとかウェアですとか、そろえるだけでお金がかかりますし、スキー場も最近インバウンドのおかげというか、少し値段が高くなって、なかなか町民がスキーを楽しめる機会が少なくなったなというふうに思っています。そういう中で、先ほど2人が答弁した中で、スキーのリフト券については、なんとかリフト会社の方とニセコ町と色々話をして、町民割引というか、町民に少しでも安く券を販売して、そして大いに利用してもらいたいということで、今回は用具を借りたいということで、小さいお子さんには、先ほど答弁あったように用具は用意してるんですけども、成長した中学生とか小学校の高学年の方には今後、スキー券のような形でレンタルのスキー板だとかその用具とかっていうのがどうしてもというようなニーズが多いようであれば、可能な限り補助をしていくような検討をしてまいりたいというふうに思っています。いずれにしても、ニセコの子どもがニセコでスキーやスノーボードを楽しんで、元気になってほしいなと思っております。本当に貴重なご質問ありがとうございました。

町長：スキーのレンタルについてご質問ありがとうございます。ニセコ町や倶知安町もそうですけど今世界中から、注目されているまちです。これまでも、オリンピックの招待を受けた選手ですとか、たくさんのオリンピック選手がこれまでも出ています。できるだけこれから町としても、子どもたちがたくさんスキーできる環境を作っていきたいなと思っておりますので、また気づいた点あれば、ぜひご意見賜ればありがたいなと思っておりますので、よろしく申し上げます。ご質問ありがとうございました。

(10分間の休憩、まちづくり委員会振り返り発表)

4. まちづくり委員会振り返り発表 (成果発表)

司 会：ただいまから、令和6年度まちづくり委員会振り返り発表を始めます。

まずは、ニセコ町・福井地区親交会・北海学園大学・HBCとの共同プロジェクトとして行われた福井地区防災マップ作りの発表を行います。福井地区親交会の方々による福井地区の歴史のお話を聞いたのち、実際に福井地区と相馬地区に分かれてフィールドワークを行ないました。午後からは、実際に見たものや聞いたものなどを活かしながら、班ごとに分かれてマップ作りを行ないました。お手元にもお配りしております、マップが初稿版となっており、完成版が出来次第ご案内させていただきます。1日を通しての感想などをこれから発表してもらいます。それでは、よろしくお願いします。

(1) ニセコ小学校4年 前川 旺太・高橋 風輝・二唐 研

「令和6年7月13日開催 福井地区防災マップ作り」

二唐委員：これから、まちづくり委員会福井地区振り返り発表を始めます。まず初めに福井地区を歩いて僕が見たものを発表します。僕が見たのは、昆布川、ため池、妙見神社、JR臨時停車場跡地付近や畑です。福井地区を歩いてみた感想は、妙見神社の歴史や目印になっているヒノキの木のことを知れてよかったです。ため池は底が深くて危険なことも分かりました。

前川委員：次にマップ作りについて発表します。今回は福井の防災についてと魅力についてのマップを作りました。マップを作るのに難しかったことは、情報量が少なくまとめるのに時間がかかったことです。楽しかったことは、知らなかった福井地区の建物や歴史のことを知れたので良かったことです。

高橋委員：1日を通しての感想は、色々な場所に行ってマップを作っていくのは難しかったけど、班の中で色々な意見を出し合って最終的に意見がまとまって良いマップが作れました。実際に福井地区に住んでいる人のお話もたくさん聞けて、福井地区のことをたくさん知れてよかったです。これで福井地区防災マップ作りの発表を終わります。

司 会：続いてマイクラフトを活用した未来のまちづくりについての発表を始めます。「ワクワクする遊び場・学び場を考えよう！」ということで、第1回目はニセコ町・慶應義塾大学山形研究室との協働でこども達と共に意見交換を行ないました。更にニセコ雪森考舎による自然のお話と木のスプーン作りも行ないました。第2回目では、意見交換した内容などをもとに、実際に自分たちだけの仮想空間を作ることが出来るマイクラフトを活用して、各グループに分かれ話し合いながら、中央地区をモデルに既存の建造物を活かしながら未来のニセコのまちを考え作りました。今回委員の皆さんには、マイクラフトで作ったまちを紹介してもらいます。発表よろしくお願いします。

(2) インターナショナルスクール4年 長谷川 愛和・ニセコ小学校4年 佐藤 友秋・ニセコ小学校5年 二唐 六花

「令和6年度8月31日開催 マイクラフトを活用した未来のまちづくり」

二唐委員

佐藤委員

長谷川委員：これからマイクラフトを使ったまちづくりの発表を始めます。

最後のまちづくり委員会では、マイクラフトを使って未来のニセコのまちづくりをしたので、その日にみんなで作ったものを発表します。まず作ったのが「観覧車」で

す。ニセコには遊園地がないので観覧車を作ってみました。次は「ゲームセンター」です。工夫したことは建物の中にお客さんを入れたことです。次は「ガラス張りのレストラン」です。作った理由は、外の景色を見ながらおいしい料理を食べると良いなと思ったからです。次は「空中にある家」です。未来では空中にも家があると思ったので作りました。次は「マグマの温泉」です。作った理由は外の涼しい空気にあたりながらマグマに入ると気持ちいと思ったからです。次は「ヘリポート」です。自動ドアにして入りやすいようにしました。次は「ニセコと書かれている大きな畑」です。広くしてたくさん作物を作れるようにしました。次は「きび団子工場」です。トロッコできび団子を運べるようにしました。次は「水中レストラン」です。きれいな川を見ながらコーヒーを飲むことが出来ると良いなと思って作りました。最後に「ニセコ大橋からつながる温泉」です。温泉を出たらプールがあって、プールにはスクリーンがあります。映画を見ながらプールに入ることが出来るように工夫しました。

1日を通しての感想は、マイクラの他にも色々なお話を聞いたり体験ができたので、すごく楽しみながら出来て良かったです。これでマインクラフトを使ったまちづくりの発表を終わります。

#### 4. 閉会行事

##### (1) 教育長講評（片岡教育長）

皆さん、子ども議会とまちづくり委員会の振り返り発表本当にお疲れ様でした。

これまで準備をしてきたということで、いろんなことで友達同士と色々話をしたり、色々打ち合わせをして、係の担当の方にもいろいろ相談しながら、取り組んできていただいたというふうに思っています。議会の質問も、皆さんにとって本当に切実なトイレの問題やスクールバスの問題、いろんな貴重なご質問いただいたということで、ぜひ教育委員会としても町としても、皆さんのご意見を大切にして、十分反映できるような検討に進めていきたいと思っています。

皆さんご承知かどうかあれですけども、選挙権とって、選挙の年齢が2年前から、20歳から18歳に、引き下げられました。ですから場合によっては、高校3年生でも選挙をすることができるようになります。そういうふうに皆さんも、議会や町の行政の仕組み等も含めて、こういう貴重な機会に触れていただいたということは本当にありがたいことですし、とても大切なことです。そして将来皆さんが、選挙をするということにも繋がります。そしてしっかりと日本の未来について考えるという、そんなことに役立てていただければなと思っています。

まちづくり委員会の振り返り発表でマインクラフトの動画を見せていただきましたけども、私も実際当日、暑い中皆さんが中央倉庫の方で一生懸命取り組んでいた姿を見てすごく感動しました。びっしり頑張ってやってたので、中でも疲れたなあって思うお子さんもいましたけれども、とても貴重な体験をしたんじゃないかなと思っています。いろんな体験できたのは、大学の先生や町の人あるいは、皆さんの保護者の方も含めてそういった協力があって貴重な体験ができたと思います。また今日の発表、それから保護者の方や皆さんに関係する方が出席していただいたということも、すごくありがたいというふうに思っています。ぜひ皆さんこの貴重な経験や体験を、これからの小学校中学校の生活の中

で、そして大人になったときにこういうことをやってタメになったなっていうふうになれるようなそんなふうにならなければいけないと思っています。本日本当にお疲れ様でしたありがとうございました。

## (2) 閉会挨拶（片山町長）

子ども議員の皆さんそれからまちづくり委員の皆さん、本当にいろんな発表や議会ありがとうございました。ニセコは実は、日本で最初にまちづくり基本条例っていうのを作った町なんです。

みなさん日本国憲法って勉強したことありますか。僕も小学校のときに、家に新しい憲法の話とか、六法全書ってのがあって、それをひっくり返してみても、すごく日本はいい国だなんて誇りに思ったことがあります。これまで日本の社会で憲法に相当するものは、こういう地方自治体っていうんですけど、市町村で作るところは1つもなかったんです。だけど、みんな町民の皆さんが知恵出し合って、やっぱり将来子どもたちに、将来の世代にこの環境と景観とかとっていいまちを引き継ぎたいなっていうことで、もう2年半みんなが夜集まったりして、124回ぐらい会議を町民の皆さんもやったんです。そしてこのニセコ町まちづくり基本条例というのは日本で初めて作ったまちです。これを経過でこういう私たちの町の憲法とか、これが本になって日本中で売られています。今その3階にもこういう本あるので、もし暇があったらニセコって過去こんなことしてきたんだなって勉強してもらえばいいなというふうに思います。ここに自治基本条例は生きてるかって書いてるんですけど、これの10年たったときに、本当にこのニセコ町の憲法としてのまちづくり基本条例って、みんなの生活に生きてるんですかっていう検証の会議シンポジウムっていうんですけど、そういう集まりをやったんです。100人ぐらい集まったと思いますけど、九州大学の先生とかね北海道大学の先生方も来られてやりました。その時に、子どもから質問あったんです。去年、そのやった前の年にニセコ小学校の遊具は全部入れ替えになったんです。

ジャングルジムとかブランコとか、入れ替えになったんですよ。手を挙げて質問した小学生が、去年私達のニセコ小学校の遊具が入れ替えがありました。だけど、どんな遊具がいいか私たちの子どもの意見何にも聞いてくれませんでした。これはまちづくり基本条例に違反してるんじゃないんですかっていうような質問を小学生がしてくれたんです。当時教育委員会としては、答弁するのに困ってました。でも、子どもたちが自分たちで考えたみんなの意見を、自由に言い合える町、意見表明権っていうんですけど、小さいときからそういうことがいえる町で、みんなが自由に思った意見を言い合えるまち。有島武郎の相互扶助というの学校で習ったかもしれませんが、有島武郎って作家が、このニセコの地域に農場を持っていて、去る時に私達に残してくれた言葉が相互扶助ということで、それはこのまちづくり基本条例の中にも書いてるんです。

相互扶助ってどんなことかっていうと、お互いを尊重し合って、お互いを大事な人として尊重して、人間の尊厳って言葉を使うんですけど、お互いの意見を言い合って、町だったり社会だったり日本の国だったり世界の平和のことも含めて話し合える、そういうまちにしようねってことが、私たちは決める、そういったことを細かく書いているんです。だから子どもの人権ってよく言うんですけど、子どもの尊厳とかのこともこの中に書かれています。今、世界の中で、そういう子どもたちの、意見表明権をきちっと守ってやっていると、日本の中でも、このニセコが非常に評価、そういう面では、みんながこう評価してくれるようになり

ました。こどもまちづくり委員会とか、子ども議会もこういう流れの中で、みんなが将来日本という国とか世界の平和とかに、みんなが意見言い合って、自分の意見をきちっといえる。そんなふうにみんなが育ってくれたら嬉しいなというふうに思います。このまちづくり委員会と子ども議会として、将来町議会議員や町長になりたいと思いますか。今ぜひみんなが、こういうことをやる中で、将来みんな国の国会議員になってもいいし、そういった私たちの社会、自分たちが作っていくんです。皆さん1人1人が、自分たちが作っていく、そういうことに、自信と意見もちゃんと考えながらやって大きくなっていただければいいなと思ってます。

今日こうして貴重な時間、学校の先生や、それから教育委員会の職員も含めて、そして保護者の皆さん応援いただいて、こういったまちづくり委員会とか子ども議会とか、将来にわたって引き継いでいけたら良いなと思います。それから最後に1つだけ言いますけど、このニセコ町って、計画いっぱいあるんです。総合計画というまちの10年後20年後どういう計画にするかっていうのもあったり、2年間近くみんなで話し合って、よい環境を子どもたち残したいって考えた環境基本計画っていう計画です。今ある自然環境とか羊蹄山とかアンヌプリ綺麗に見えるよね。だからニセコ高い鉄塔ってないんです。全部そういう規定をして、あんまり景観とか環境悪くするようなものはやめようねってみんなで決めた町なんです。そういった、みんなで決めてた過去の歴史も、将来の皆さん、皆さんが大人になったときの子どもたちに引き継いでいって、このニセコの美しい景観や自然環境、そしてみんなで助け合うまちを将来引き継いでいけたらいいなと思ってるので、これからも協力してもらえればありがたいなというふうに思っています。こうやって貴重な時間や参加していただいたこと、心から感謝をして挨拶とします。今日はどうもありがとうございました。

### (3) 記念写真撮影